

古来より茶事の略式である茶会は亭主が客を招き、茶室という洗練された空間でおいしい茶をいただくという茶の湯文化形成に欠かせない要素の一つであります。大きく分けると厳かな趣である濃茶席と和やかな雰囲気のある薄茶席があり、その名の通り茶の濃さ、そして茶を点てる作法や道具組まで、それぞれ異なります。また茶会で用いられる各道具は、その時の季節、世情、好みなどお招きする亭主の趣向が十分に反映されており、客をもてなす上での一つの楽しみでもあります。

本秋季展では展示室を茶室に見立て、濃茶席、薄茶席の道具組を中心にご紹介します。滴翠翁・山口吉郎兵衛遺愛の茶道具を通して、茶会をより身近に感じただければ幸いです。

特別展

茶会に 招かれて

2023

滴翠
美術館
秋季展

9.12 tue - 12.10 sun (臨時休館日 9.28 thu / 10.24 tue)

Event

11月18日(土)

- ①11:00~
- ②11:40~
- ③13:00~
- ④13:40~
- ⑤14:20~

各席 30分(電話予約制)
会費 二〇〇〇円(入館料込)
協力 裏千家
掘尾宗苗
浜本宗寿
大石宗啓

秋の呈茶席

~当館茶室・梅松庵で
楽しいひとときを~

滴翠美術館

TEKISUI MUSEUM OF ART

- 開館時間|10:00~16:00(開館は15:30まで)月曜休館
- 入館料|一般630円/高大生420円/中学生以下無料
※団体割引15名様以上2割引き、その他各種割引あり
- アクセス|[電車] 阪急芦屋川駅より北西へ徒歩約8分
JR芦屋駅より徒歩約15分/阪神芦屋駅より徒歩約25分
[お車] 阪神高速道路芦屋出口より約10分
- お問合せ|〒659-0082 兵庫県芦屋市山芦屋町13-3 [TEL] 0797-22-2228
- HP| <http://tekisui-museum.biz-web.jp/>

関西の茶に関わる美術館と博物館9館が緩やかに連携し、入館料の相互割引を実施。詳しくは各館HPや各館へのお問い合わせでご確認ください。

- *京都 北村美術館、京都国立博物館、泉屋博古館、野村美術館、樂美術館
- *大阪 逸翁美術館、中之島香雪美術館、湯木美術館
- *兵庫 滴翠美術館

